

2年3組

3組1班

SDGsの番号：3、10、16

核なき世界へ

現在起っている、ウクライナとロシアの戦争を通して核なき世界を目指すために、私たちには何が出来るのかを考えなければならない。しかし核爆発の恐ろしさを知っているのにも関わらず、継続して核を所持している国がある。これらの国々にどう対応していくかが、問題となっている。核保有国といえば、ロシア、アメリカ、フランス、英国、その他アジアの中国などだ。国が核を持つことによって平和で公正な世界ではなくなる。だが私たちは、核が完全に無くならないと考えている。なぜなら、核が外交のガードになってしまっているからだ。被爆国の日本も、アメリカの核の傘で守られている中で、2017年3月の核兵器禁止条約の交渉会議にも参加しなかった。もし出せば、アメリカの機嫌を損ねてしまうという恐れがあったからではないだろうか。世界の目標としてSDGsでの平和公約の項目が出されている以上、国が前向きにその問題へと突き進んでほしい。核を使えばどれだけの人が犠牲になるのか。本当に使う必要があるのか。もう少し深く考えなければならない。実際、私たちがどう行動しようか、どう言葉を投げかけようか、この問題への解決へ導くのは難しいのかもしれない。しかし、わたしたちの未来のためにも一人ひとりが少しでも核について興味を持ち、核の危険性や仕組みについて調べ、それについて深く考え自分の意見を持ってほしいと思う。



3組2班

SDGsの番号：8、9、11、16、17

防衛費増額 5兆円

皆さんは防衛費 5兆円増額について知っていますか？ 5兆円があれば子育て・教育面では、大学授業料の無償化、児童手当の高校までの延長と所得制限の撤廃、小・中学校の給食費の無償化が全て同時に行えます。さらに、医療にむければ公的保険医療の自己負担の(1割～3割)をゼロに、消費税では10%から8%へと引き下げる2%分の金額になります。皆さんはこんな大金を本当に防衛費に使われるか分からないのに信用できますか？私は信用できません。ちなみに5兆円あればできることを調べてみました。1日100万円使っても使い切らない1万3000年かかります。また、東京ディズニーランド、シーの建設費の合計は約5000億円、東京ディズニーリゾートをあと10個は建設できる金額です。(建設した年の金額なので現在はもっとかかると思います。)この5兆円は本当に必要なのでしょうか？



3組3班

SDGsの番号：11、16

子供の安全

住み続けられるまちづくりにおいて、子どもたちが安心して暮らすことのできる環境を整えることはとても大切です。今回、私たちは大阪の小学校で起きた殺人事件について調べることにしました。その事件は小学生8人の命が奪われ、15人が重傷を負うなどとても悲惨なものでした。このようなことを二度と起こさないためには、社会全体での取り組みや、防犯のための意識づくりを普段から行う必要があります。例えば、子供たちの登下校の見守りです。登校中の子供が被害に遭う交通事故や犯罪を減らすためには、地域全体で見守り活動を行うことが効果的とされています。このように、子供たちの安全を守るためには学校だけでなく地域全体で取り組むことが重要だと考えることが出来ました。また、これからの社会のために私たちが進んで動いていかなければならないと思いました。



3組4班

SDGsの番号：3、9、11

暮らしに寄り添う発明

住み続けられるまちづくりというのは、女性、お年寄り、障がいのある方が何不自由なく住み続けられるように様々な工夫を施し、皆が安心安全に公共の場所を利用出来るようにすることだと思います。現代の社会の課題は、高齢者や障がいのある方に配慮した、いわゆる「バリアフリー」の浸透率が東京都や神奈川県や京都府といった比較的栄えた場所に比べ、地方はバリアフリーの施設数が少ないのが課題となっています。課題を解決するには、階段やスロープのある場所を増やしたりすることが、まず大前提なのですが、人のために何かをしてあげるといふ意欲が課題の解決に繋がり、それが産業と技術革新の基盤を作り上げるのではないかと私達は考えます。なぜなら、自分のために何かをしようとすると後回しにしがちだが、大切な人の為なら何かをしようという気持ちになり、その気持ちが意欲につながり、それらが技術や産業の発展となり、課題の解決につながるのではないかと私たちは考えます。



3組5班

SDGsの番号：1、2、10、12、16

なぜ戦争するのか

今現在も世界中では紛争がおこっており、たくさんの命や、資源がなくなっています。それだけでなく、他にもさまざまな問題が起こっています。例えば、ロシアのウクライナ侵攻の影響を受けて、穀物の輸入が停滞し、食料価格が高騰しています。また、紛争の多い発展途上国に住む人たちは常に十分な栄養を摂取できていません。さらに、戦争や紛争に巻き込まれた大勢の人々が難民となり、その避難民を受け入れる国々も支援に苦慮している状況です。現在、健康に生きるために必要な栄養を得られていない人口は世界中で30億人にもものぼると言われています。また、紛争下の国々では、幼い子どもたちが性的虐待の被害にあっています。子供たちのダメージはその時だけでなく将来にわたって残るものです。他国の紛争や戦争を他人事とするのではなく、私たちにできることを考え続けていくことが大切だと考えます。



3組6班

SDGsの番号：7、11

夏の節電について

夏は一年で最も電力が使われる季節です。節電対策をすることで、限りあるエネルギーを有効活用することができ、地球温暖化を始めとする環境問題の改善にも繋がります。夏季の節電対策方法は、電力使用料の多いエアコンと冷蔵庫の使い方を工夫することがカギとなります。エアコンの節電方法には、冷房の室温設定は28℃を目安にする、冷房は必要となるタイミングでのみ利用する、遮光カーテンを設置して日光を遮るなどがあります。冷蔵庫の節電方法としては、食料・飲料を詰め込み過ぎない、熱いものは冷ましてから保存する、無駄な開閉を減らし、開けている時間を短くする、放熱スペースを確保するため壁から放して設置するなど挙げられます。まずは身近にある不必要なエネルギーから節電していき、熱中症などを患わないように注意を払いつつ、無理のない程度で節電していくことを推奨します。



3組7班

SDGsの番号：5、10

ジェンダー問題

現在、徐々に解決されつつあるが、世界にはまだまだ解決されていないジェンダー問題があります。それについて理解を深めていきましょう。まず、ジェンダー格差が生まれてしまう要因として、昇給や役職の差が挙げられます。そして、勤続年数の差も影響が出ていると言われています。今、日本では、経済・教育・健康・政治の各分野において男女の不平等があり、雇用条件などの女性差別は、身体的・精神的・社会的にダメージを与える深刻な問題になっています。この問題を解決するために、ジェンダー平等を実現しなければなりません。そのためには、一人一人がジェンダーに対する意識や理解を深め合わなければなりません。そのためには、性別による差別を無くし、女性と男性が対等に権利、機会、責任を分かち合える社会を作ることが必要だと思いました。



3組8班

SDGsの番号：7、11、13

夏の節電要請でできること

SDGsで自分たちが貢献できることは、ゴミの分別やエコ活動など、色々ある中、私たちは夏の節電要請で出来ることについて調べた。インターネットと新聞で調べた結果、今夏の電力不足の懸念により、7年ぶりに節電要請が出されたのだ。そして、節電要請をふまえた家族向けの対策例はエアコンが26度から28度に上げるだけで節電効果があるなどだ。これから、自分たちに出来ることは、電力の使用を少しでも減らすように心がけることである。この電力使用についての問題は、後々地球温暖化などの気候変動に繋がっていくので、私たちが生活して行く上で十分に関わってくる。なので、日々生活して行く中で1人1人が節電について気をつけるべきだ。

